jν

Carex spongiosa J. Ohwi, sp. nov.

æ デ

力 力

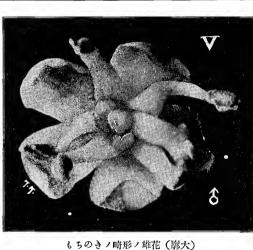
Taikou

デ採集シタ No. 1310.

ノ植物ハ

Ω

Paxii Kuek.



ヘラ

v デ

jν

ノガ相當ニ

7

n E

> v 等

ラ詳細

ナ ヲ

說明

ハ

發 新 氣

アッ

タ

日 æ

鮮產

æ

ノ

内デ

モ學名 ッ

訂

正 = 二 テ

要 n

n

品 テラレ

種 味

類

日本ノ先輩諸學者カラハ

稍繼子 御指導ノ

扱ヒ

サ 調 丰

v 查 タ

見捨 ス

n

テ、ソノ内ノ

重要ナ

ノニ

ツイテ貴重ナ本誌ノ一

部ヲ 别 種

力

ŋ

簡略ニ述ベル事ニスル

京都帝

國大學理

寧部

小泉博士ノ

下

ヲ ガ 三

初

メ

タ Þ 车

由 力

來

余ハ原來す

が類植

物

=

少

ナカラヌ

味

ヲ 大

持ッ

昨

本

産

すげ

屬

新

種

報

知

京都帝國大學

井

次

郎

世界的すげ屬ノ大家 Kuekenthal 氏ハー九〇九年ニ故 (1) Carex Paxii Kuekenth. みのぼろもどき

FAURIE

氏 ヲ

ラノ標本ハ外形コソ多少似タ所ガアルガ重要點ハ却ッテ本邦ニ普通ニ産スルくろかはづすげニ類シテヰテ、 發表シタ、 ノ採集シタ朝鮮産すげ類ノ内カラ C. Paxii Kubkenth. ナル新種 Kurk. 氏ノ記載ト全ク同一デアルガ他ノ シカルニ京大標本室ニ保存サレテアル同種ノ控品ヲ見ル Syou-ouen (No. 1306.)

鱗片ガ淡色ナノト果嚢ガ水平以上ニ開張スル事實トニョッテムシ ニ酷似シテヰテ唯全體ガ大キイノト果穂 ト命名スル、 基部 中國地方特産トサレテヰルきびのみのぼろすげ モノガ多少分枝スル傾向 п 別種ト シテ取扱フ方ガ穩當ト認メラ ガア ノデ其

本産すげ屬新種報知

種 Kuek. var. succedanea (Nak.) J. Ohwi, comb. nov. ŀ ス べ キ デ 7

- 2 Carex nubigena D. Don var. Franchetiana J. Ohwi, var. nov. つくしみの ぼろすげ
- 州産ノ Carex pterolepta ヲ報告シタノハ間違ヒデ實ハ苞ガ短カイ鞘ヲ有スル點等カラ考へテあをすげノ類ニ屬 同 九州産ノみのぼろすげハ本州中部以北ニ産スルモノニ比シ果囊ノ嘴ガ短カイ點ガ違フガ他ノ特徴ハ大體兩者共 同様デア 植物モ此ノ var. 此ノモノハ朝鮮ニモアル植物デ Francher デ Carex de l'asie-orient, no. 33. Franchetiana J. OHWI. ト同ジモノト考へラレル、テナミニ Léveillé et Vaniot 三指示シ タア ĵ
- (3) Carex Kobornugi J. OHWI, sp. nov.

ス

ベキ

モノデアル

- 學名ヲ命ジタ、 海道以北ニ産スル植物デアルカラ本州海岸ニ普通ニアルかうぼうむぎニハ新シク Carex Kobomugi J. OHwr. ノ デ莖ハ鋭イ三角形ヲナシテソノ稜角ハ粗澁デアルノミナラズ鱗片ハ色ガ濃ク且外反スル果囊ヨ 從來かうぼうむぎニハ C. macrocephala WillD. ノ名ヲ用ヒテヰ)ぎト呼ブ事ニスル、かうぼうむぎハ北海道、本州 斯クテ北海道及樺太産ノ C. macrocephala Willia. ニハ和名ガナイノデ此處ニえぞのかうぼう 四國、 九州、 タ 朝鮮 が此 學名 及ウスリ地方、 相當スル植 北支那ニ分布スル 物 リモ ハ雌雄同 短力 株 北 種
- Carex mitoensis J. Ohwi, sp. nov. みとすげ
- げニモ一見類似シラヰルガ莖ノ基部ノ鱗片葉ノ狀態ガ甚ダ違フ、常州水戸市郊外ニテ鶴町猷氏ノ採集デアル . otaruensis Franch. Carex subcernua J. ニ似タ種類デ莖葉ガ軟クテ且果囊ガ長ク著シク捩レ OHWI, sp. nov. つくしなるこすげ タ嘴ヲ有スル、 叉みやまなるこす
- 條ノ明カナ脈ヲ有スルノデ容易ニ區別シ得ル、九州地方ニ稀レニ分布シテヰ (ぜなるこ様ノすげデシカモソノ果嚢ノ表面ニハあをがうそヲ思ハセル 大形ノ突起點ガアリ又ソ jν 植物デア , 兩 面 = 四 Ŧi.

Maximowiczii Miq. がうそ

がうそハ本邦ニ普通ナ種類ナダケ變リモノガ多少アル、 全ク平滑デ突起點ノ無イモノガ時々見受ケラレル、Carex Maximowiczii Mrq. 近畿、 淡路 島、 因幡 國 var. 及南信 levisaccus I. Ohwi, var 地方ニ 表 面 ガ

nov. ほしなしがうそト命名スル イ之レヲ C. Maximowiczii Mīq. var. Kinashii J. Ohwī, var. nov. ト云フ、ながみがうそト 木梨延太郎氏ガ伯耆國デ採集サレタがうそハ果嚢ガ細長クテ突起點ガ稍少ナク表面ノ脈 明 療デ · 呼ブ 且 ソノ Æ 多

(7) Carex Hideoi J. OHWI, sp. nov. たかねすげ

本州、赤石山系ノ仙丈岳附近ニ産スルすげデ支那産ノ C. Lehmanni 開張スルコトャソノ脈ガ多少著シイ點等ガ違フ、小泉秀雄氏(1922) Drej. 及余ノ標品ガ京大標本室ニアル ニ近イモノデアル、 果囊 ガ 水 平

ガ果嚢ハはまあをすげト餘リ違ヒハナイ、 はまあをすげノ親類デ苞ノ鞘部ガ長イノト果穂ガ互ニ雕レラヰルノデ Carex lonchophora J. OHWI, sp. nov. おほあをすげ 周防國及遠江國ニ産スル 4 Carex chinensis Retz. = 似

ラ

丰

jν

大隅屋久島産ノあをすげノ類デ葉ガ非常ニ狹ク巾三分ノ一「゠、メ、」ニ充タヌ、 (9) Carex perangusta J. Onwi, sp. nov. やくしまいとすげ

氏及杉本順一氏ノ標品ガアル Carex lutchuensis J. Ohwi, sp. nov 果嚢モ又全體モ小形デ長尾巧

本邦産すげ類ノ内デハじゅずすげニ似タ様ナ外見ノモノデアルガ類縁ノ點カラ云へバたいわんすげニ近ク下部

n 苞ノハ花序ョリ著シク長クテ直立シ且强ク摺合狀ヲ呈シテヰル、 ガ多少大形デ特ニソノ巾ガ廣ク頸部ハ太イ、 沖繩島ノ伊部岳ニテ田代善太郎先生ノ採集サレタモノデ 果嚢及瘦果ハ Carex ligata Boorr. ニ似テヰ アル

或

Carex mitrata Franch. var. aristata J. Onwi, var. nov. o. がね か す

本産すげ陽新種報知

從 イガ、狭小ナ雄花小穂、 ・ガ判ル 來あをすげノ中 = 混ゼラレ 圓 [頭ヲナセ テヰタモ ル雄花鱗片及帶褐色デ稍全緣ナ葉脚等ヲ見レバね ノデ西部日本ニハ稀デハナ 1 鱗片ニ芒ガアル ノデ かすげノ有芒品 あ をすげ ŀ デア 間 違 n ۲

(12)Carex Tashiroana J. OHWI, sp nov. のすげ

雌花鱗片ニ芒ガアル點デあをすげニ似テヰルガ果囊ハ長サ二「゠、メ、」ニ過ギ ルコ = ョッテ容易ニ區別出來ル、安藝國ニ産シ田代善太郞先生ノ採集 = 力 力 ズ散漫 w 分布スル小 穗上 疎 着

(13)Carex tenuinervis J. Onwr, sp. nov. つるなしおほいとすげ

お ほいとすげノ兄弟デ臺ガ出ズニ甚ダシク叢生シ果嚢ハソレヨリ僅カニ 小サ í, 九州 = 稍廣 ク分布 特ニ 肥 後

|ノ前原勘次郎氏カラ多敷贈ラレタ標本ガアル

(14)Carex geantha J. OHWI, sp. nov. はがくれすげ

中部以北、 北海道ノ山地乃至高山帶ノ下部ニ 生ズル全體ガごんげんすげニ多少似

Þ

植

物

デ

アル

ガ

頂

雄

ッ

テ

Carex subumbellata Meinsel. クナイ、 ソノ次ノ雌穂ト殆ンド同長、 ハ長橢圓狀紡錘形デ其斷面 同ジデアル 下部一乃至二個ノ雌穂ハ根生狀デシカモ 、ガ果嚢ノ形チャ鱗片ノ色等ガ違フ ハ殆ンド三角形ニ近 イ、 此ノ根生 抦ガ 割合短 |狀小穗ヲ有スル點デ カ イ 力 ラ葉 , 間 ハ樺太産 ニア

著シ 穗

州

Carex uber J. OHWI, sp. nov. つくしすげ

九州産ノたしろすげハ側小穂ノ基部ニ雄花ガ無イノト常ニー ノたしろすげト 別物デア 包ョ リー小穂ヲ生ズ jν ノミデ屋八島以南ニ産 ス jν

Carex Morrowii Boott

眞

集デ Carex Morrowii Boorr, var. laxa J. Onwi, var. nov. トパク || 久島ニハかんすげノー變種デ葉モ果囊モ細長ク雌花鱗片ハ果囊 3 y æ 短 カ ィ Æ ノヲ産 ス ル 杉本順 氏 採

[1866-67]. p. 81.) トスベキデアル rowii Boort, var. expallida J. Ohwi, var. nov. (=? C. tenuissima var. expallida 又從來園藝家ニ Carex japonica Hort. (von Thunberg) トシテ知ラレテキルかんすげノ斑入品ハ Carex Mor-

MIQ.

ひえすげニ似テ蔭地ニ生ジ葉ハ軟カク小穂ハ緑色デ頂生小穂ハ狹小ナモノガ紀州周參見港(大井)、四國伊豫國、 赤瀧、(緒方松藏氏)及九州南部(土井美夫氏)ニ産スルガ稀品ニ屬ス (17) Carex subdita J. OHWI, sp. nov. あをひえすげ

(18) Carex papillaticulmis J. OHWI, sp. nov. あをばすげ

區別シ得ル、Francher, Carex de l'asie-orient. ノ C. ひろばすげニ近イ種デ畿内地方、四國、九州ノ山地ニ自生シテヰテ葉ガ狹ク且雄小穗ガ線狀披針形ナノデ彼 此ノ種ニ屬スル Fauriei Franch. ノ圖ノ內、 花序ノ一部ヲ描 ロイタ植

(19) Carex Mayebarana J. Onwi, sp. nov. けくおすげ

ガ未熟ノモノデハ平滑デ脈ハ唯二本アルノミデアル、雄小穂ノ基部ニハ往々一二個ノ果囊ヲ着ケル、 あをひえすげ及ビ支那産ノ C. rhynchophysa Franch. ニ似テキルガ前者トハ葉ニ毛茸アル點デ、 小穗ガ線狀披針形デ長サー―一、五「セ、メ、」ニ過ギナイ點デ區別サレル、 氏ノ採集デ九州市房山ニ産スル 果嚢ノ充熟セ ルモノハ未知デア

Carex levicuspis J. OHWI, sp, nov.

kattaeana Kuba. ニ近似ノ種デ莖ガ丈高ク(四〇一五〇「セ、メ、」平滑デ、 一脈ヲ有スル雌花鱗片ニ蔽 (23)

Arnellii Christ.

ョリモ長イノデ獨立ノ種ト考ヘテ上記ノ名稱ヲ付シタ

Carex hondoensis

狹卵形デ上部

ミ細突起點ヲ有ス

jv,

FAURIE

氏

採集品デ

陸

奥

八月

田

Щ

No.

5524)

=

產

ス

n

J. Ohwi, sp. nov. あいづすげ

從來あい づすげニ用 Ł ラレテヰ タ學名 C. Arnellii CHRIST, ナル名稱ヲ有 スル 植物 ハ 本 邦 ニテハ 唯 棒 太

産シ果嚢ハ大形デ t地方及: 花柱 ラ基部 北部 ハ斜メ 地 ソノ斷面 |方ノあいづすげハ果囊ガソノ鰤面略三角形ヲナシ中ニ ニ傾キ果穂 **ハ稍膨レタル三角形、瘦果ハソノ中** (雌) ハ 太ク短カク且稍濃ク色ガ = 弛ク包 着キ - 緊密ニ 柄 7 穂 兩 者 三比 包マ シ 間 v テ長 = タ瘦果ヲ有シ嘴部 ハ多少 7 シ 空隙 力 吾 ガ 存 ゙゚ヵ゙゙゙゙゙ 3 本 在 州

デア なきりすげニ近似ノ植物デ側小穗ハ長サニ―三「セ、メ、」デ果嚢 ル、田代善太郎先生ノ採集デ阿波國劍山山麓ニ産スル、 (22)Carex autumnalis J. OHWI, sp. nov. 和名ヲ 稍平 おほなきりすげ 滑 花軸上 ŀ 云フ 疎着 シ 頂 小

穂

全

雌

性

ル、近畿地 方及中國 地 方 溪流ノ畔ニ生ズ n

かさすげぃあきかさすげノ中間性ノモノデ全形及鱗片ハかさすげ

Carox persistens J. OHWI, sp. nov. おんさかおすげ

平滑デアッテ且乾燥スレバ黄褐色トナリ嘴ハ平

開

-10

ズシ

=

類

シ

果囊

ハ

多少あきかさすげニ

近

ソ

テ反ッテ上ニ向ッ

テ曲

J,

柱

頭ハ長クシテ宿

存性デア

表面ハ

Онwi, var. Takeuchii J. Онwi, 僅カノ顆粒狀突起 ア var. nov. n Ŧ ノガ 丹波國三俣ニ ŀ 命名スル 產 ス jv, 竹內敬氏 ノ 採集 = チ ナ 3 Carexpersistens

Carex Gotoi J. OHWI, sp. nov

Carex nutans Hosr. ノ類デ果囊ガ鱗片ヨリ稍短カクテ水平ニ開張 成熟スル ト部分的ニ紫色ヲ帯ビル、 朝鮮會寧附近ノ産デ後藤清志氏ノ採集ニカト シ、 廣卵形デ長サ約 几 位 , モ